

米国上院・下院司法委員会が知財関連委員会の要職を公表

2023年2月21日
JETRO NY 知的財産部
石原、福岡

米国下院司法委員会は1月27日、上院司法委員会は2月16日に、第118回米国連邦議会（2023年1月3日から2年間続く）における知財関連委員会の委員長、ランキングメンバー¹および他のメンバーを公表した²。

なお、知財関連委員会の位置付けは第117回議会と同様であり、上院司法委員会の下に知的財産小委員会、下院司法委員会の下に法廷・知的財産・インターネット小委員会が設置された。

各委員会の委員長とランキングメンバーは以下のとおり。

上院 知的財産小委員会

委員長：

Chris Coons 議員（デラウェア州選出、民主党）

ランキングメンバー：

Thom Tillis 議員（ノースカロライナ州選出、共和党）※再任

下院 法廷・知的財産・インターネット小委員会

委員長：

Darrell Issa 議員（カリフォルニア州選出、共和党）

ランキングメンバー：

Hank Johnson 議員（ジョージア州選出、民主党）

上院については、第117回議会で委員長を務め、2011年に成立した米国発明法（AIA: Leahy Smith America Invents Act）の提案者でもあるPatrick Leahy 氏が議員を引退³したこと、委員長の後任が注目されていた。

委員長に就任したCoons 議員は、第116回議会において、今回ランキングメンバーを務めるTillis 議員を委員長とする知財小委でランキングメンバーとして活動しており、再び両議員で知財小委をリードしていくことになる。

Coons 議員は過去の議会において、特許が無効にされにくくなるように特許審判部（PTAB）を見直す内容を含む特許法改正法案（STRONGER Patents Act）を上程⁴するなど、強い特許のための政策の推進派として知られている。

2022年12月29日に成立した「Unleashing American Innovators Act of 2022」⁵をLeahy 議員、Tillis 議員と共同で提案したMazie Hirono 議員（ハワイ州選出、民主党）もメンバーとして再任された。

¹ 野党筆頭委員であり、委員長と並ぶ要職。

² 上院：Durbin, Graham Announce Subcommittees and Subcommittee Chairs & Ranking Members of Senate Judiciary Committee（上院司法委員会のDurbin委員長プレスリリース）
下院：The Subcommittee on Courts, Intellectual Property, and the Internet

³ https://www.jetro.go.jp/ext_images/_Ipnews/us/2021/20211119.pdf

⁴ https://www.jetro.go.jp/ext_images/_Ipnews/us/2019/20190722.pdf

⁵ https://www.jetro.go.jp/ext_images/_Ipnews/us/2023/20230104.pdf

下院については、第 117 回議会でランキングメンバーを務め、過去には同委員会の委員長を務めた経験も持つ Issa 議員が委員長に就任した。Issa 議員は、議員になる前に車のアラーム会社を設立し 37 件の特許を取得した経験がある。上述の AIA の共同提案者でもあり、特許制度改革の提唱者の一人として知られている。Issa 議員はパテントトロールへの対応のために特許侵害訴訟の提起を難しくし、PTAB への当事者系レビューの申し立てを容易にするべきとの考え方を持っていることから、強い特許のための政策を推進したい上院と対立し、議会での知財関連法案の審議が難航する可能性があるとの声もある。ランキングメンバーの Johnson 議員は第 117 回議会で同委員会の委員長を務めており、引き続き同委員会の要職に就任した。

(以上)